

招 へ い 研 究 者 報 告 書				
招へい研究者氏名	Amanda Huensch			
招 へ い 期 間	(西暦) 2024 年 5 月 19 日 ～ 2024 年 6 月 29 日			
受 入 機 関	外国語学部			
受 入 担 当 者	所 属	外国語学部	資 格	教授
	氏 名	竹内 理		
講演会実績				
○研究者向け講演会タイトル：Shifting priorities in researching and teaching second language pronunciation. ○日時：6 月 18 日 16 時 20 分～17 時 50 分（参加者 33 名：オンライン参加も含む） ○概要：第二言語の発音研究者たちは、ネイティブらしさやアクセントの排除よりも、理解可能で分かりやすい発話を優先することを提唱している。この変化により、研究者は理解度と分かりやすさに影響を与える発音の側面を特定することに注力し、教師はそのための訓練と教材の開発を行っている。講演では、これらの要因を調査する氏自身の研究と、発音研究の変化が教室実践に与える影響について報告された。さらに、今後の方向性として、Pre-registration、多言語コーパスの作成とデータ共有、デジタルツールの使用の必要性に言及された。 ○学生向け講演会タイトル：Identifying realistic and meaningful goals for second language pronunciation improvement. ○日時：6 月 13 日 14 時 40 分～16 時 10 分（参加者 80 名：対面のみ） ○概要：第二言語の発音スキル向上は、しばしばアクセントの軽減と同一視されるが、実際には理解度、分かりやすさ、流暢さ、そしてアクセントの強さという複数の関連した異なる側面が含まれる。これらの側面が関連しながらも異なる理由を、例をまじえて議論した後、英語の発音において理解度と分かりやすさに影響を与える主要な要素を検討し、分かりやすさを向上させるための実践的な方法を紹介された。				